

つかさ会 会報

Vol. 30
2008. 10 月発行
つかさ会事務局



つかさ会会員の皆様こんにちは。

先月にご案内しました《つかさ会秋の講演会》ですが、まだ定員に余裕がございます。

申し込みをされていない方、忘れていた方のために **追加募集** をいたします。

11月3日(祝)、8日(土)、30日(日)

いずれも同伴の方も誘っていただき、是非お越しくださいませ。



【058-230-6378】

なら留守電にいれるだけで



です。

すでに申し込みをされた方は、この封筒に『つかさ会秋の講演会にお申し込みいただき ありがとうございます』が同封されております。ご確認ください。もしも、申し込んだはずなのに入っていない！ 申し込んだ内容と異なる！ との方は事務局まで連絡をお願いします。

尚、11月16日のウォークラリーも募集中です。



今月号の『さかえ』では、“第44回全国糖尿病週間の標語(P42)” “第2回世界糖尿病デーポスターコンクール(P64)” このようなページは読み飛ばす方が多いと思いますが、糖尿病は知識よりも意識！（と私は思っています）、意識付けができるといいですね。ちなみに、糖尿病週間には今年も岐阜城が青くライトアップされる予定です。

次に、“新・糖尿病レッスン(P28)” 極意ってほどのことは書いてありませんでしたが、「身体は、以前の血糖コントロールの良否を記憶している…」 色々な失敗(?)をしたという方もそうでない方もこれから良い記憶を身体に残していきたいものですね。その為のとおきのコツとして、医師や医療スタッフ、さらには患者さん相互間の親密な交流が勧められています。つかさ会もその一助になるかと思えます。是非、ご活用下さい。

“編集委員だより(P63)” には、「3年後、30年後の自分の姿を思い描けるかどうかが大切です」と良い言葉が書いてありました。実際は難しいですけどね。誰でも30年後はわかりません。僕だって30年後にはどこかの癌が見つかって…とも思ったりします。誰もが怖い「癌」については、P10を読み流してください。ただし、必要以上の心配をされるのも良くはないかも知れませんよ。

来月もつかさ会会報をお楽しみに！ 文責 川地